

## 1. 経済成長に伴い、貧富の差が拡大

「国民の5%の最富裕層が国の40%の資産を保有しており、その中の20%が税金を払っていない」、と Bangladesh Bank Training Academy (BBTA)主催で行われた会議で、 Bangladesh Bank Training Academy の Farashuddin 氏が述べた。さらに彼は、 Bangladesh Bank Training Academy (BBTA)主催で行われた会議で、プレゼンテーションを行い、「1985-86年度の国家の歳入は合計407億3000万タカであったが、それが2011-12年度は1兆1838億5000万タカへととなった。現在の Bangladesh の問題は、歳入よりも歳出である。なぜなら予算の大部分は、毎年、計画だけで実施されていないからである」、と述べた。

続けて彼は、「1972年、 Bangladesh の1人当たりの所得は\$160だったが、2012年には\$700へと上昇した。同時にマレーシアや中国、シンガポールのように多くのアジアの国々でも所得は上昇した。付加価値税が1991-1992年度から導入されて以来、経済は成長し、政府の歳入は上昇した。逆に、GDP比の投資は、投資の生産性を加速させるために30%まで増加させるべきであったが、24-25%へと落ちてしまった。モニタリングと評価の活動がとても貧弱である。それらは他国だと月次ないしは週単位で実施されているのに対し、 Bangladesh では首相たち自らが行っているからだ」、と話した。

アジア開発銀行地域局長 Teresa Kho 氏は、「インフレの影響は、急激に発展する Bangladesh の経済成長にとって大きな抑制原因となっている。また数年間の過少投資により、 Bangladesh 人口の大部分は基盤インフラにアクセスすることが難しくなっている。とくに経済的に恵まれない人々や、田舎のほうに住んでいる人々にとってはなおさらである。 Bangladesh は近年急激な経済成長を迎えたが、それに伴って、インフラへの歴史的な過少投資が電力、ガス、港、道路、鉄道、水や衛生用品へのさらなる需要を後押しすることとなった。 Bangladesh がこのような地域で大きな投資を求めているのは明らかだ。都会の世帯90パーセントが電力を使用できるが、田舎の世帯においてはたった42.5パーセントほどである。 Chittagong 港は、国の海上運輸の85パーセントを扱っている港であるが、さらに発展させ、労働生産性を上げ、また経営の改善を行う必要がある」、と述べた。

「適切な環境を彼らに供給することにより民間部門の成長を援助したいと私達は考えており、そのために政府と手を組んでいる。なぜなら、民間部門はより効率的な資源配分を確かなものにし、経済成長の永続的な源になり得ることができるからである。このプロジェクトに関わる計画や競売、遂行や運営の透明性は、一般大衆へのインフレ供給にかかるコストを削減することができる」、とアジア開発銀行の職員は述べた。

## 2. 政府が、縫製業未経験者に対し、トレーニング施設を計画

商務省は縫製工場で働く新人に対して、技術を教える環境を整える計画をしている。「商務省は1,440人の工員を訓練する予定であり、それらの多くは就職後1年以内の工員を対象にする」、と商務省の役人は話した。

縫製業は外貨の獲得手段の筆頭となっている。しかし縫製工の25%が技術不十分であり、それが生産性の妨げとなっている。現在、400万人が縫製産業で働いており、円滑な産業成長をしていくためには、さらに100万の人手が必要と言われている。「私たちは工場側からの要望である熟練した工員採用の手助けが出来るように努力する」と商務省の Monoj Kumar Roy 氏は話した。そして下記の組合、組織が訓練を実施予定である。

- ・ Bangladesh Garment Manufacturers and Exporters Association,
- ・ Bangladesh Knitwear Manufacturers and Exporters Association, Textile Directorate,
- ・ Handloom Board
- ・ Bangladesh Export Processing Zone Authority and Bureau of Manpower
- ・ Employment and Training

商務省は、本プログラムのために、2007-2008年度に大蔵省から与えられた資金から支出する予定。そしてトレーナーは、技術的なノウハウ、工場環境、工員の態度、行儀、安全面、清潔に重点を置き、教えて行く事になる。この訓練は、セーター・ニット用の機械、編み機、そして品質管理についても、重点がおかれる予定である。

## 3. 大臣が縫製関係各社に労働者との争いに備え、組織化を提案

大臣の Khandker Mosharrif Hossain 氏は、ダッカで行われた縫製関係オーナーたちの緊急会議で、 Bangladesh 衣料製造者連合に向けて、「最近暴動が起きているのは、労働者と雇用主の両方が発言をすることのできるプラットフォームがなかったせいである。一般参加型委員会を行うことにより労働者と雇用主の関係は発展するだろう。縫製部門における労働組合の構成は、一般参加型委員会のパフォーマンスをベースとすることになるでしょう。労働者達は、

自分たちの問題に関して雇用主側と話し合いをもつ機会がないので、これからは般参加型委員会を構成しなくてはならない」と演説を行った。

Hossain 氏はまた、5つの地区における危機管理委員会が縫製部門の危機に関して話し合いをするため、会議を召集するように秘書に命じた。「縫製部門における最近の動乱に関して、見てみぬふりをすることはできません」と彼は話す。バングラデシュ衣料製造者連合は、ある労働者が行方不明になったという噂に怒った労働者たちによって工場が損害を受けているため、この暴動に関して話し合いをしようと会議を招集した。大臣や国会議員、政府のシニア職員、審議会代表、労働者代表、さらに様々な利害関係者を含めたメンバーが、緊急に計画された会議において話し合った。そこで Hossain 氏の見解に同調している運輸省大臣 Shahjahan Khan 氏は、「雇用主はプラットフォームを形成し、中間レベルの経営をより強化すべきだ」と提案した。労働・雇用省の常任委員会議長 Israfil Alam MP 氏は、「Ha-Meem グループにおける労働者の暴動は、Ashulia の現地政治リーダーの影響によりもたらされたものである」と話をした。

バングラデシュ商工会議所連合会の代表であり、Ha-Meem グループのオーナーでもある AK Azad 氏は、「話し合いを通してこの問題を終わらせることが出来るよう、政府に対し緊急会議に介入するように」と促した。さらに「私達は、健全な労働組合主義の実践を認めるでしょう。しかし、訓練されていてスキルのある組合リーダーが必要です」と、彼は話している。

特殊労務警察部隊の事務局長 Abdus Salam 氏は、「縫製部門における暴動を緩和させるために、地元議会がより積極的な役割を担うことが重要である。警察部隊は、Ha-Meem グループの倉庫管理人である Salman さんの件からすでに引き上げている。最近起こった暴動は、Salman さんが行方不明になったという噂により引き起こされたものだったが、彼は昨日の会議に参加していた」と彼は話した。

なお今回の会議は、バングラデシュ衣料製造者連合の代表 Shafiul Islam Mohiuddin が取り仕切っていた。

#### 4. アメリカ大使が労働者の環境などを危惧

Dan W Mozena 米国大使は、ダッカのホテル Ruposhi Bangla で行われたバングラデシュ米国商工会議所主催の昼食会ミーティングにおいて、縫製業の労働者代表が死亡した件に関して言及し、「Hillary 氏は訪問の際、ビジネスや貿易、投資や労働問題に関して話をしました」と述べた。会議に参加していたビジネス関係者に対して大使が話したのは、「米国バイヤーがバングラデシュにおける労働状況について心配しているという点を Hillary 氏が危惧していた」ということだ。近年、米国はバングラデシュ製品のもっとも主要な輸出先となっている。2011年には、アメリカに45億9千万ドルに値する輸出を行い、また、10億9千万ドルの輸入を行った。

代表の Aftab-ul-Islam 氏は、「地元投資家と海外投資家、どちらも惹きつけるには政治的な安定が不可欠です。人々は、この国に政治的安定性を期待していますが、残念なことに、2つの主要政党の対立的政治関係によって、こういった期待は実現していません」と話した。

#### 5. 金融部門の流動性危機、エネルギーの不足が産業界の債務支払へ打撃

現会計年度の初め9ヶ月間、産業界の債務支払いが2010-2011年の同時期と比べて急激に滞り始めた。金融部門における流動性危機と、産業界における電力・ガス不足が原因とされている。

BB データは、産業ローン回収額の増加率は、前年同時期に32.49パーセント増えたのと比べ、2011-2012年7月から3月の産業ローンに関しては16.59パーセントほどしか増えていないことを明らかにした。BB 職員は、「銀行・その他の金融機関における流動性危機が、産業ローンの支払いに大きく影響をもたらすこととなった。また金融部門は預金不足に直面しており、これもまた支払いに影響を与えている。ローン支払いが低迷するということは、この国の産業プロセスは下降傾向にあるということの意味する。産業界の生産がこれから数ヶ月後に減ってしまう可能性がある。中央銀行による財政圧縮政策もまた、ローン支払いの現状に影響を及ぼしている。高いインフレ率を抑制するため、市場における貨幣供給量に圧力をかけるというスタンスをBB銀行は取っている」と彼は話す。

「ここ数ヶ月の間、電力危機やガス不足などのために多くの産業界が生産危機に直面している。こういった理由により、起業家たちはこの時期ビジネスの拡大を行うことが出来ていない。結果として、彼らは銀行にローンの申し込みをすることを躊躇しているようだ。産業生産量の下降傾向により、銀行・他の金融機関による債務回収は急激的に少なくなった」と、他のBB職員は話す。職員は、ローン支払いと債務回収のスピードが低迷したことは、望ましい事態ではないとし、「政府は、産業界における電力危機を緩和させるために尽力するべきである。さもないと国内総生産は困難な状況に陥ることになってしまう」とも話した。

BB データは、銀行・その他金融機関における産業界の流動性危機は、期限付き産業ローンにも影響したことを明らかにした。

## 6. インドが綿の輸出を再開

バングラデシュは綿花に関しては、輸入に頼り切っている。そして、この2年間、インドの輸出規制の影響を受け、バングラデシュはインド以外の隣国を模索する他なかった。Ghulam Hussain 商務長官率いる視察団は、インド依存から脱却の為5月4日にウズベキスタンへと出発する。バングラデシュは39.39lakh 俵以上の綿花を2011年6月までの1年で輸入した。その内訳は41.82%がインドから、35.31%がウズベキスタン、7.68%がアフリカ、15.19%が他国。

インドは昨年と今年で、数回の制限を実施した。最近のものは、3月5日に国内の株式市場を構築するためであった。以前の禁止の一つの理由は、輸出が950万俵に急増し(1俵は170Kg)、政府の推定値を超えたためであった。

しかし、バングラデシュの紡績業者たちは、5月下旬、再開の決定を迎え入れた。「インド綿への依存は地理的に近い事が理由の一つです。それは輸入時間の短縮に繋がります。もちろん、最新の同行は我々にとって良い兆候です」、と Bangladesh Textile Mills Association の代表は話した。ローカルの紡績業者による商品はインドの規制変更により問題に直面していた。「今回は、バングラの貿易業者からの抗議によりインド側は意志を変えた。それに伴い、より多くを生産するようになるだろう」、とインドの商務省 Anand Sharma 氏は話した。また Sharma 氏は、「貿易業者は一両日中に新しい出荷契約に登録することができる。農業省、綿花諮問委員会による綿花の改訂見積もりにより、我々は綿花の輸出差し止め解除を決定した」、記者会見で Sharma 氏は述べた。

以上